

日本農業気象学会 2010 年度総会 議事要旨

日 時：2010 年 3 月 17 日（水）13:10～15:00
場 所：名城大学天白キャンパス 共通講義棟北 N202 講義室（A 会場）
（名古屋市天白区塩釜口 1 丁目）

開 会

議長に 浦野 慎一 支部長（北海道支部）を選出

1. 2009 年度活動報告

- 1.1 事務・事業報告（総会資料 2～7 ページ参照） - 提案どおり承認された。
- 1.2 規程の改正（総会資料 8～10 ページ参照）
 - 1.2.1 永年功労会員表彰規程 - 提案どおり承認された。
 - 1.2.2 日本農業気象学会賞規程 - 提案どおり承認された。
 - 1.2.3 学会賞審査委員会規程および役員選出規程 - 提案どおり承認された。
- 1.3 2009 年度一般会計決算報告（総会資料 11 ページ参照） - 提案どおり承認された。
- 1.4 会計監査報告（総会資料 12 ページ参照）

2. 審議事項

- 2.1 2009 年度剰余金処分（総会資料 13 ページ参照） - 提案どおり承認された。
- 2.2 2010 年度事業計画（総会資料 14～16 ページ参照） - 提案どおり承認された。
- 2.3 2010 年度一般会計予算（総会資料 17 ページ参照） - 提案どおり承認された。

議長を解任

3. 2009 年度各賞の授与式および記念講演

学会賞表彰

学会賞（学術賞）	関 平和	会員
学会賞（学術賞）	北宅善昭	会員
学会賞（学術賞）	平野高司	会員
学会賞（普及賞）	佐瀬勘紀	会員
学会賞（論文賞）	小野圭介	会員
学会賞（論文賞）	大上博基	会員
学会賞（奨励賞）	近藤文義	会員

学会賞受賞記念講演

関 平和	会員
北宅善昭	会員
平野高司	会員
佐瀬勘紀	会員

閉 会

<上記の報告・審議事項の内容は、「日本農業気象学会 2010 年度総会資料」に掲載しています。>

日本農業気象学会 2010 年度 総会資料

日時：2010 年 3 月 17 日（水）13:10～15:00

場所：名城大学天白キャンパス 共通講義棟北 N202 講義室（A 会場）

名古屋市天白区塩釜口 1 丁目 501 番地

日本農業気象学会 2009 年度総会 議事次第

開 会

会長挨拶

議長選出

1. 2009 年度活動報告

1.1 事務・事業報告（案）

1.1.1 役員等の交代	2
1.1.2 会員数の動向	2
1.1.3 研究集会・会議等の開催	2
1.1.4 各種事業の推進	2
1.1.5 編集委員会活動報告	3
1.1.6 学会賞審査委員会報告	4
1.1.7 永年功労会員表彰審査委員会報告	4
1.1.8 特別委員会等の設置および活動	5
1.1.9 関連学協会委員	5
1.1.10 支部活動報告	6
1.1.11 研究部会活動報告	7

1.2 規程の改正

1.2.1 永年功労会員表彰規程	8
1.2.2 日本農業気象学会賞規程	8
1.2.3 学会賞審査委員会規定および役員選出規程	9

1.3 2009 年度一般会計決算報告（案）

1.4 会計監査報告

— 2009 年度事業報告・一般会計決算報告（案）の承認 —

2. 審議事項

2.1 2009 年度剰余金処分（案）

— 2009 年度剰余金処分（案）の承認 —

2.2 2010 年度事業計画（案）

— 2010 年度事業計画（案）の承認 —

2.3 2010 年度一般会計予算（案）

— 2010 年度一般会計予算（案）の承認 —

議長解任

3. 2009 年度各賞の授与式および記念講演

学術賞，普及賞，論文賞，奨励賞，永年功労会員表彰

閉 会

1. 2009 年度活動報告

1.1 事務・事業報告

1.1.1 役員等の交代

- 1) 学会賞審査委員長に互選で小林和彦会員が就任
- 2) 学会賞審査委員の交代：北宅善昭会員，平野高司会員 → 田中丸重美会員，林陽生会員
- 3) 永年功労会員表彰審査委員の交代：古在豊樹会員 → 野内勇会員
- 4) 編集委員（ISAM2010 担当）の追加：高木健太郎会員，谷晃会員，松島大会員，吉本真由美会員，脇水健次会員，脇山恭行会員

1.1.2 会員数の動向（2010 年 1 月 19 日現在）

正会員	537 (内外国 8)	(- 28)
シルバー会員	21	(+10)
学生会員	45 (内外国 1)	(- 8)
ポスドク会員	3	(+3)
購読会員	118 (内外国 3)	(- 6)
賛助会員	29	(- 3)
名誉会員	6	(0)
海外特別会員	72	(0)
合計	831	(- 32)

() 内は、2008 年 12 月 31 日時点と比較した増減数

1.1.3 研究集会・会議等の開催

- 1) 2009 年全国大会：2009 年 3 月 25 日～27 日に郡山市民交流プラザおよび福島県農業総合センターで開催
- 2) International Symposium on Agricultural Meteorology (ISAM) 2009：2009 年 3 月 26 日～27 日に福島県農業総合センターで開催
- 3) 農業環境工学関連学会 2009 年合同大会：2009 年 9 月 15 日～18 日に東京大学駒場 I キャンパスで農業機械学会，農業施設学会および生態工学会と共催
- 4) 2009 年度総会：2009 年 3 月 25 日に郡山市民交流プラザで開催
- 5) 2008 年度評議員会：2009 年 3 月 25 日に郡山市民交流プラザで開催
- 6) 2009 年度理事会：2009 年 3 月 27 日に福島県農業総合センター，6 月 12 日に東京大学農学部，9 月 15 日に東京大学駒場 I キャンパス，12 月 11 日に東京大学農学部で開催
- 7) 支部長会議（拡大理事会）：2009 年 9 月 15 日に東京大学駒場 I キャンパスで開催（参加者 27 名）

1.1.4 各種事業の推進

- 1) 学会活動の活性化
 - (1) 支部へのアンケートを実施して支部の実情，支部活動の問題点，本部への要望などの意見を集約し，支部長会議において学会活動活性化のための議論を行った
 - (2) 新規会員獲得のためのパンフレットを作成し，広報活動を行った

- (3) 会員サービスとして、メーリングリストを利用した事務連絡等の実施（農業気象学会メール広報）
 - (4) 永年功労会員にフェローの称号を授与することを決定
 - (5) 会員数維持のために、終身会員制度の導入を検討
 - (6) ウェブサイトを通じた積極的な情報提供
- 2) 学会誌等の出版
- (1) 会誌「農業気象」：第 65 巻 1 号～第 65 巻 4 号
 - (2) 会誌「生物と気象」：第 9 巻 (<http://www.soc.nii.ac.jp/agrmet/sk/2009/sk9.html>)
 - (3) 会誌「農業気象」掲載論文の Journal@rchive における電子化作業の実施
(http://www.journalarchive.jst.go.jp/japanese/jnltop_ja.php?cdjournal=agrmet1943)
- 3) 日本農業気象学会賞の審査および授与
 - 4) 日本農業気象学会永年功労会員の審査および表彰
 - 5) 日本農業工学会フェローに高田吉治会員を推薦
 - 6) 支部大会等の推進（別表「支部活動報告」の通り）
 - 7) 「研究部会」、「若手研究者の会」等の推進（別表「研究部会活動報告」の通り）
 - 8) 特別委員会の開催
 - 9) 日本農学会，日本農業工学会，農業環境工学系学会連盟，日本地球惑星科学連合の活動を推進，日本学術会議関連の活動に協力，学術会議ニュースの理事への配信
- 10) 他学会・団体とのシンポジウム・会議の共催・協賛・後援等を推進
- (1) 日本地球惑星科学連合 2009 大会におけるセッションを共同提案（「MAHASRI- iLEAPS 連携」，気象学会，水文水資源学会，農業気象学会，大気化学研究会）
 - (2) 第 55 回風に関するシンポジウム（2009 年 3 月 19 日，日本大学）を共催
 - (3) 日本地球惑星科学連合 2009 大会 MAHASRI- iLEAPS 連携セッション（2009 年 5 月 21 日，幕張メッセ）を協賛
 - (4) 生態工学会 2009 年度年次大会（2009 年 6 月 19 日～20 日，筑波大学）を協賛
 - (5) 日本学術会議公開シンポジウム「知能的太陽光植物工場」（2009 年 7 月 3 日，日本学術会議）を後援
 - (6) 日本流体力学会 年会 2009（2009 年 9 月 2 日～4 日，東洋大学）を協賛
 - (7) AsiaFlux Workshop 2009（2009 年 10 月 27 日～29 日，北海道大学）を協賛
 - (8) 2009 年度生態工学会定例シンポジウム（2009 年 11 月 6 日，東京大学）を協賛
 - (9) 日本能率協会「アグロイノベーション 2009」（2009 年 11 月 25 日～27 日，幕張メッセ）を協賛
 - (10) 日本学術会議公開シンポジウム「持続可能な食料生産：RS/GIS/GPS 技術の応用」（2009 年 12 月 17 日，日本学術会議）を後援
- 11) 各種賞について会員へ推薦依頼，各種公募研究の案内
 - 12) 2010 年全国大会の企画
 - 13) Web 版測器ガイドブックの改訂版の作成に向けた検討
 - 14) 学会賞受賞者へ贈呈する記念品「みのり」の製作者・佐藤忠良氏への感謝状等贈呈
 - 15) その他，本学会の目的達成のための各種事業の推進

1.1.5 編集委員会活動報告

- 1) 編集委員会の開催

第1回 2009年3月26日, 福島県農業総合センター

第2回 2009年6月8日, 大阪大学待兼山会館

第3回 2009年9月16日, 東京大学駒場Iキャンパス

第4回 2009年11月28日, 大阪大学待兼山会館

2) 「農業気象」, 「生物と気象」の発行

「農業気象」65巻1~4号

研究論文27編(うち英文14編), 短報8編(うち英文1編), 資料2編(うち英文1編)

「生物と気象」9(電子化して学会ホームページ上で公開)

講座5編, 会議報告2編, 支部報告6編, 学会賞受賞講演要旨3編

3) J-Stageで公開

「農業気象」を <http://www.jstage.jst.go.jp/browse/agrmet/-char/ja/> で公開

1.1.6 学会賞審査委員会報告

2009年9月1日締め切りで, 2009年度日本農業気象学会賞の受賞候補者を公募し, 正会員および編集委員会から推薦があった候補者を学会賞審査委員会で審査。2009年12月2日付で, 小林学会賞審査委員長より審査結果が報告され, 支部長, 評議員および理事の投票により, 2010年2月10日に下記の会員の受賞が決定した。

学術賞: 関 平和 会員 「堆肥発酵熱と土壌および傾斜温室の温度環境のモデル化と解析」

学術賞: 北宅善昭 会員 「根圏ガス環境調節による植物成長の制御技術の開発」

学術賞: 平野高司 会員 「長期フラックス観測に基づく森林生態系の炭素収支に関する研究」

普及賞: 佐瀬勘紀 会員 「自然換気温室の換気・気流特性」

論文賞: 小野圭介 会員 「Applicability of the planar fit technique in estimating surface fluxes over flat terrain using eddy covariance」

農業気象 64(3), 121-130 (2008)

論文賞: 大上博基 会員 「Evaluation of ozone uptake by the rice canopy with the multi-layer model」

農業気象 64(4), 223-232 (2008)

奨励賞: 近藤文義 会員 「Evaluation of Webb correction on CO₂ flux by eddy covariance technique using open-path gas analyzer over asphalt surface」

農業気象 64(1), 1-8 (2008)

1.1.7 永年功労会員表彰審査委員会報告

2009年7月7日, 各支部に永年功労会員候補者の推薦を依頼した。2009年9月1日の締め切りで推薦のあった候補者を永年功労会員表彰審査委員会で審査。2009年11月8日付で, 及川永年功労会員表彰審査委員長より審査結果が報告され, 支部長, 評議員および理事の投票により, 2010年2月10日に下記の会員の受賞が決定した。

関東支部推薦: 古在豊樹 会員

関東支部推薦: 真木太一 会員

中国・四国支部推薦: 早川誠而 会員

1.1.8 特別委員会等の設置および活動

1) 学会の在り方委員会（委員長：大政謙次副会長）

委員長以下，林副委員長，広田幹事の体制で活動を行った。2009年全国大会および農業工学関連合同大会にて学会誌，永年会員制度，支部活動などについて意見交換し，理事会に答申

2) 企画講演委員会（委員長：星岳彦理事）

2010年全国大会の公開シンポジウム「植物工場の技術革新に果たす農業気象学の役割」および公開講座「園芸施設へのヒートポンプ利用」を企画。報道機関等約100機関にプレス発表し，非会員の一般参加を促し，会員増につなげる活動を実施

3) 広報・企業担当委員会（委員長：青木正敏副会長）

2009年4月10日に農業気象セミナー「農業・環境・生物における計測新技術」を東京ビッグサイトで開催（講演6題，参加者25名）

4) ホームページ担当委員会（委員長：皆巳幸也理事）

情報誌（生物と気象），大会・研究会情報，各種お知らせ等のホームページへの掲載

5) 学会賞審査の在り方に関する検討委員会（委員長：青木正敏副会長）

学会賞の審査および学会賞審査委員会の在り方に関する検討を行い，理事会に答申

6) （ハンドブック）出版委員会（委員長：小林和彦理事）

2009年3月26日に福島県農業総合センターにて，全体計画を打ち合わせ。現在原稿を収集中

1.1.9 関連学協会委員

日本農学会	評議員：岡田益己会長，運営委員：平野高司理事
日本農業工学会	理事：真木太一顧問，代議員：細井文樹会員，国際代議員：青木正敏副会長
農業環境工学系学会連盟	委員：岡田益己会長，青木正敏副会長
日本地球惑星科学連合	学会長会議員：岡田益己会長，窓口委員・プログラム委員：鳥谷均会員
地理関連学会連合	オブザーバー：山川修治会員

1.1.10 支部活動報告

支部名	研究会・講演会・出版物	会員 (2009年1月16日現在)
北海道支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会 (研究発表 10 件, シンポジウム「新しい観測機器とインテリジェント観測システム」, 総会) : 2009 年 12 月 1 日, かでる 2・7 (札幌市), 参加者約 50 名 「北海道の農業気象」第 61 号 	正会員 : 36 シルバー会員 : 0 学生会員 : 3 購読会員 : 9 合計 : 48
東北支部	<ul style="list-style-type: none"> 東北支部大会 (研究発表 10 件, シンポジウム「温暖化する東北でめざす作物生産の安定と向上」, 総会) : 2009 年 11 月 17~18 日, 秋田県立大学秋田キャンパス, 参加者 24 名 「東北の農業気象」第 54 号 	正会員 : 45 シルバー会員 : 1 学生会員 : 1 購読会員 : 10 合計 : 57
関東支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会 (研究発表 8 件, 特別講演 2 件, 総会) : 2009 年 12 月 5 日, 千葉大学園芸学部 (松戸市), 参加者 38 名 「関東の農業気象」第 35 号 	正会員 : 230 シルバー会員 : 3 学生会員 : 22 購読会員 : 32 合計 : 287
北陸支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会 (研究発表 4 件, シンポジウム「農業気象研究とモデル化 (第 2 回)」, 総会) : 2009 年 11 月 13 日, 福井県職員会館 (福井市), 参加者 15 名 「日本農業気象学会北陸支部会誌」第 34 号 	正会員 : 16 シルバー会員 : 0 学生会員 : 0 購読会員 : 6 合計 : 22
東海支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部幹事会 : 2009 年 11 月 1 日, 名城大学 支部大会 (研究発表 6 件, 総会) : 2009 年 12 月 12 日, 名城大学, 参加者 20 名 「東海支部会誌」第 68 号 	正会員 : 42 シルバー会員 : 1 学生会員 : 1 購読会員 : 7 合計 : 51
近畿支部	<ul style="list-style-type: none"> 近畿支部大会 (研究発表 8 件, シンポジウム「都市域の緑地と環境を考える」) : 2009 年 12 月 12 日, 大阪府立大学学術交流会館, 参加者 39 名 「日本農業気象学会近畿支部大会講演論文集」第 2 号 	正会員 : 56 シルバー会員 : 4 学生会員 : 4 購読会員 : 15 合計 : 79
中国・四国支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会 (研究発表 30 件, シンポジウム「地球温暖化時代の地域農業の展望」(問題別研究会と共催), 総会) : 2009 年 12 月 3~4 日, 高知大学朝倉キャンパスメディアホール, 参加者約 60 名 「中国・四国の農業気象」第 22 号 	正会員 : 68 シルバー会員 : 2 学生会員 : 7 購読会員 : 19 合計 : 96
九州支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会 (日本生物環境工学会九州支部と共催, シンポジウム「温暖化に対する西南暖地の取り組み」, 研究発表 21 件, ポスター発表 16 件, 総会) : 2009 年 11 月 28~29 日, 宮崎大学, 参加者 90 名 「九州の農業気象Ⅱ輯」18 号 	正会員 : 45 シルバー会員 : 3 学生会員 : 11 購読会員 : 22 合計 : 81

1.1.11 研究部会活動報告

部会名・部会長	事務局・幹事	研究会・講演会・出版物
リモートセンシング・GIS 研究部会 部会長：大政謙次 設立：2000年12月	〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学大学院農学生命科学研究科 清水 庸 Tel: 03-5841-8101, Fax: 03-5841-8175 E-mail: ayosh@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp	農業環境工学関連学会 2009年合同大会にて、オーガナイズドセッション「生態系機能リモートセンシングとモデリング」を開催，2009年9月16日，東京大学駒場キャンパス，参加者70名
生態系プロセス研究部会 部会長：小林和彦 設立：2003年7月	〒305-8604 つくば市観音台 3-1-3 農業環境技術研究所大気環境研究領域 桑形恒男 Tel: 029-838-8202, Fax: 029-838-8211 E-mail: kuwa@affrc.go.jp	「食と農の安全確保のための多国間ネットワーク事業」による国際ワークショップ(2009年10月6～9日，つくば国際会議場)の後援
園芸工学研究部会 部会長：佐瀬勘紀 設立：2006年6月	〒271-8510 千葉県松戸市松戸 648 千葉大学大学院園芸学研究科 石神靖弘・彦坂晶子 Tel: 047-308-8843, Fax: 047-308-8843 E-mail: ishigami@faculty.chiba-u.jp	ISHS Symposium on Light in Horticulture (2009年11月15-19日)の開催
センシング・モニタリング 技術研究部会 部会長：青木正敏 設立：2008年6月	〒136-0075 江東区新砂 1-7-5 東京都環境科学研究所調査研究科 横山 仁 Tel: 03-3699-1331, Fax: 03-3699-1345 E-mail: yokoyama-h@tokyokankyo.jp	日本農業気象学会セミナー「農業・環境・生物における計測新技術」を，2009年4月10日に，東京ビッグサイトにおいて，日本農業気象学会主催，センシング・モニタリング技術研究部会共催で開催
若手研究者の会	〒060-8589 札幌市北区北9条西9丁目 北海道大学大学院農学研究院 平田竜一 Tel: 011-706-4175 E-mail: ryuhiro@env.agr.hokudai.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・農業環境工学関連2009年合同大会において，若手研究者の会を開催（2009年9月16日，東京大学駒場1キャンパス，タイトル：「プレゼンテーション力を高める - 一目置かれる発表のために」演者：梅本 和正氏（春日部厚生病院 言語聴覚士）） ・文部科学省の事業仕分けに対して発表された複数の若手会による共同声明文 (http://sites.google.com/site/wakatekyouseimeiji/) に参加（声明文作成から参画）

1.2 規程の改正

1.2.1 永年功労会員表彰規程

改正前	改正後
永年功労会員表彰規程	永年功労会員表彰規程
1. 会則第1章第4条2, 第2章第5条に基づき本規程を設ける。 2. この表彰は本学会の発展に永年貢献した会員を対象とする。 3. 被表彰者には表彰状及び記念品を贈る。 4. 被表彰者の選考は次の手続きによる。 (1) 支部長は会員期間が原則として30年以上で、年齢満65歳以上の支部会員の中から候補者を選考し、会長に推薦する。 (2) 支部長から推薦されなかった会員で、被表彰者に該当する会員については、総務理事が会長に推薦する。 (3) 永年功労会員表彰候補者を審査するため、審査委員会を設ける。 (4) 審査委員会は候補者の審査結果を会長に報告する。 (5) 会長は支部長、理事および評議員の投票によって被表彰者を決定する。 5. この表彰は原則として毎年行う。 6. 総会で表彰式を行う。 (付則) 本規程は平成20年度から適用する。	1. 会則第1章第4条2, 第2章第5条に基づき本規程を設ける。 2. この表彰は本学会の発展に永年貢献した会員を対象とする。 3. 被表彰者には <u>日本農業気象学会フェローの称号を授与し</u> 表彰状及び記念品を贈る。 4. 被表彰者の選考は次の手続きによる。 (1) 支部長は会員期間が原則として30年以上で、年齢満65歳以上の支部会員の中から候補者を選考し、会長に推薦する。 (2) 支部長から推薦されなかった会員で、被表彰者に該当する会員については、総務理事が会長に推薦する。 (3) 永年功労会員表彰候補者を審査するため、審査委員会を設ける。 (4) 審査委員会は候補者の審査結果を会長に報告する。 (5) 会長は支部長、理事および評議員の投票によって被表彰者を決定する。 5. この表彰は原則として毎年行う。 6. 総会で表彰式を行う。 (付則) 本規程は <u>平成22年度</u> から適用する。

1.2.2 日本農業気象学会賞規程

改正前	改正後
日本農業気象学会賞規程	日本農業気象学会賞規程
1. 会則第1章第4条2, 第2章第5条(3)に基づき本規程を設ける。 2. 日本農業気象学会賞は次の会員に贈られる。 (1) 農業気象学・農業気象技術の進歩, 発展に著しく寄与した研究業績をあげた会員 (以下この賞を学術賞とよぶ) (2) 農業気象学・農業気象技術の普及, 教育, 啓蒙に著しく貢献のあった会員 (以下この賞を普及賞とよぶ) (3) 学会の事業活動や学会の運営・発展に著しく貢献	1. 会則第1章第4条2, 第2章第5条(3)に基づき本規程を設ける。 2. 日本農業気象学会賞は次の会員に贈られる。 (1) 農業気象学・農業気象技術の進歩, 発展に著しく寄与した研究業績をあげた会員 (以下この賞を学術賞とよぶ) (2) 農業気象学・農業気象技術の普及, 教育, 啓蒙に著しく貢献のあった会員 (以下この賞を普及賞とよぶ) (3) 学会の事業活動や学会の運営・発展に著しく貢献

<p>した原則として 65 歳以下の会員（以下この賞を功績賞とよぶ）</p> <p>(4) 顕著に優れた研究論文が本学会誌に掲載された会員（以下この賞を論文賞とよぶ）</p> <p>(5) 優れた研究論文が本学会誌に掲載された 30 歳以下（審査年度の 4 月 1 日現在）の会員（以下この賞を奨励賞とよぶ）</p> <p>3. 学術賞，普及賞は原則として毎年各 1 名に，功績賞，論文賞，奨励賞は毎年若干名に贈られる。</p> <p>4. 学術賞，普及賞受賞者には賞状ならびに賞牌が，功績賞，論文賞，奨励賞受賞者には賞状および記念品が贈られる。</p> <p style="text-align: center;">[中略]</p> <p>(付則) 本規程は平成 20 年度から適用する。</p>	<p>した原則として 65 歳以下の会員（以下この賞を功績賞とよぶ）</p> <p>(4) 顕著に優れた研究論文が本学会誌に掲載された会員（以下この賞を論文賞とよぶ）</p> <p>(5) 優れた研究論文が本学会誌に掲載された 30 歳以下（審査年度の 4 月 1 日現在）の会員（以下この賞を奨励賞とよぶ）</p> <p>3. 学術賞，普及賞，功績賞，論文賞，奨励賞は毎年若干名に贈られる。</p> <p>4. 学術賞，普及賞受賞者には賞状ならびに賞牌が，功績賞，論文賞，奨励賞受賞者には賞状および記念品が贈られる。</p> <p style="text-align: center;">[中略]</p> <p>(付則) 本規程は平成 22 年度から適用する。</p>
---	---

1.2.3 学会賞審査委員会規程および役員選出規程

改正前	改正後
<p style="text-align: center;">学会賞審査委員会規程</p> <p>1. 会則第 1 章第 4 条 2，学会賞規程 6 に基づき本規程を設ける。</p> <p>2. 委員の定員は 15 名とする。</p> <p>3. 委員の任期は 2 年とし，連続して 2 期を越えてはならない。</p> <p>4. 委員の選出は，役員選出規程に従い，選挙によって行う。</p> <p>5. 委員長は委員の互選による。ただし任期は 1 年とし，重任しないものとする。</p> <p>6. 会長，副会長は委員を兼ねることができない。</p> <p>7. 委員は，日本農業気象学会賞候補の推薦を受けた場合，委員に留まることができない。</p> <p>8. 委員に欠員が生じた場合は，次点者を繰り上げて補充するものとする。</p> <p>(付則) 本規程は平成 11 年度から適用する。</p>	<p style="text-align: center;">学会賞審査委員会規程</p> <p>1. 会則第 1 章第 4 条 2，学会賞規程 6 に基づき本規程を設ける。</p> <p>2. 委員の定員は 12 名とする。</p> <p>3. 委員の任期は 4 年とする。</p> <p>4. 委員の選出は，役員選出規程に従い，選挙によって行う。</p> <p>5. 委員は 2 年ごとに半数が改選される。</p> <p>6. 委員長は原則として学術賞または普及賞の受賞経験者とし，委員より互選する。ただし任期は 1 年とし，重任しないものとする。</p> <p>7. 会長，副会長は委員を兼ねることができない。</p> <p>8. 委員は，日本農業気象学会賞候補の推薦を受けた場合，委員に留まることができない。</p> <p>9. 委員に欠員が生じた場合は，次点者を繰り上げて補充するものとする。</p> <p>(付則) 本規程は平成 23 年度から適用する。適用開始の特別措置として 23 年度の委員のうち互選による 6 名の任期を 2 年とする。</p>

役員選出規程	役員選出規程
<p>1. 会則第1章第4条2, 第5章第13条に基づいて本規程を設ける。</p> <p>2. 選挙管理委員会を設ける。</p> <p>1) 選挙管理委員は, 庶務担当理事を含む正会員 3名で構成され, 理事会の議をへて会長が委嘱する。委員長は委員の互選により選出する。</p> <p>2) 選挙管理委員は, 会長 (1名), 副会長 (2名), および学会賞審査委員 (15名) の候補者選出の任にあたる。</p> <p>3) 選挙管理委員の任期は, 改選前年の夏期に開催される理事会から, 改選当年度の総会までとする。</p>	<p>1. 会則第1章第4条2, 第5章第13条に基づいて本規程を設ける。</p> <p>2. 選挙管理委員会を設ける。</p> <p>1) 選挙管理委員は, 庶務担当理事を含む正会員 3名で構成され, 理事会の議をへて会長が委嘱する。委員長は委員の互選により選出する。</p> <p>2) 選挙管理委員は, 会長 (1名), 副会長 (2名), および<u>改選となる</u>学会賞審査委員 (6名) の候補者選出の任にあたる。</p> <p>3) 選挙管理委員の任期は, 改選前年の夏期に開催される理事会から, 改選当年度の総会までとする。</p>
[中略]	[中略]
<p>(付則) 本規程は平成 20 年 3 月 20 日から適用する。</p>	<p>(付則) 本規程は<u>平成 23 年度</u>から適用する。</p>

1.3 2009年度一般会計決算報告（案）

2009年度一般会計決算（案）

1. 収入

科目	予算	決算	備考
学会費	6,812,000	6,514,520	2009年1月で予算計算
正会員	4,624,000	4,531,000	
シルバー会員	70,000	96,500	
学生・ポスドク会員	204,000	140,500	
購読会員	984,000	786,520	
賛助会員	930,000	960,000	
売上金	2,240,000	4,485,505	
養賢堂(含む書店)	400,000	410,400	
掲載料・別刷り	1,800,000	4,044,205	
バックナンバー	40,000	30,900	
雑益費	334,000	869,538	
広告料	300,000	357,500	
利息	4,000	4,685	
その他	30,000	507,353	複写権利66,453円 福島大会返金400,000円 農学賞金賞状代40,900円
前年度繰越金	152,597	152,597	
単年度合計	9,386,000	11,869,563	
合計	9,538,597	12,022,160	

学会費収入は会員数の減少によって漸減傾向にある。2009年度は売上金および雑益費による収入が例年と比べて多かったため剰余金を多く確保することができた。

1.収入に関しては、売上金(主に別刷り代)によるものが、約225万円、雑益費(主に福島大会返金25万円と寄付15万円)が約54万円、決算額が予算額を上回ったことにより計約248万円の単年度増収となった。

2.支出は売上金収入の主因である別刷り代の経費が約60万円増加したこと、編集委員会経費(旅費)2年分の経費を支払ったため、学会誌発行業務費が約118万円増加したことなどにより、予算に対して約102万円上回った。

3.収入のうち学会費は予算額を約30万円下回った。2010・2011年度前納分を差し引くと決算額はさらに約73万円減少する(ただし、前年度と異なる計算をすることになるので単純な比較はできない)。

4.売上金および雑益費を2008年並みとすると、単年度収入は約909万円(繰越金を除く)、支出は別刷り費増加分を差し引いて約702万円、単年度差異は約207万円の赤字となる(学会費前納分を差し引くと約134万円)。

収入合計	11,869,563
支出合計	7,619,052
収支差異	4,250,511
剰余金	4,403,108

2. 支出

科目	予算	決算	備考
学会誌発行業務	3,900,000	5,078,334	農業気象85(1)-(4)
印刷・製本・別刷り費	2,600,000	3,195,780	
発送費	300,000	260,205	
編集費	1,000,000	1,622,349	養賢堂分856,319円 編集委員会経費766,030円(2年分)
総大会費	800,000	750,000	
大会運営費	750,000	750,000	全国大会(25万)、合同大会(50万)運営費
大会事務費	50,000	0	
学会賞費	50,000	59,785	論文賞、奨励賞、受賞者懇親会費
会計業務委託費	922,000	980,253	
会員業務	520,000	602,253	会員管理(856*850)、発送等手数料
会計業務	252,000	252,000	(会計業務、月額@20000*12)
窓口・その他業務	150,000	126,000	(窓口業務、月額@10000*12)
理事会開催費	200,000	0	
庶務理事経費	55,000	55,000	
会計理事経費	80,000	57,230	(振込手数料・ファミリ手数料含)
支部補助費	310,000	305,500	単価500円
部会・研究・渡航補助費	150,000	50,000	
リモートセンシング・GIS研究部会	0	0	
生態系プロセス研究部会	0	0	
園芸工学研究部会	0	0	辞退
センシング・モニタリング技術研究部会	0	0	辞退
若手研究者の会補助費	50,000	50,000	
渡航費補助	100,000	0	5万円x2名
関連団体分担金	130,000	282,950	
日本地球惑星科学連合	0	10,000	
日本農学会費	80,000	172,950	会費および祝賀会費
日本農業工学会費	50,000	100,000	平成20年度・21年度分
単年度支出	6,597,000	7,619,052	
予備費	2,941,597	0	予備費の内、学会費の遡滞分が80万円程度と想定。
合計	9,538,597	7,619,052	



財産の部

資産の部					
現金	会計理事預り分	930	学会基金	5,000,000	
普通預金	三井住友	3,028,870	事業準備金	5,000,000	
"	みずほ	9,667,934	剰余金	4,403,108	
"	関東つくば	0			(前年度繰り越し¥152,597+単年度収支¥4,250,511)
振替貯金		2,599,878	財産の部計	14,403,108	
定期預金	三井住友	2,172,109			
資産の部計		17,469,721			
負債の部					
未払金	養賢堂へ	2,290,583			
	編集委員会	766,030			
預かり金	その他	10,000	大会参加費誤入金		
負債の部計		3,066,613			

平成 22 年 2 月 26 日

会計監査報告

日本農業気象学会
会長 岡田益己 殿

日本農業気象学会
会計監査 寺添 齊 
奥島里美 

日本農業気象学会 2009 年度（2009 年 1 月 1 日～2009 年 12 月 31 日）予算の執行に関し、五十嵐大造会計理事より提出された会計書類について、質疑応答を交えながら監査を実施した。その結果、帳簿や証拠書類は正確に記載され、誤りなく出納されていることを確認したことから、当該予算が適正に執行されていたものと認める。

会計監査におけるコメント

1. 単年度収支は昨年に引続き黒字となっているが、会員数の減少がみられることから収入の安定化に留意し、これまでどおり単年度でバランスのとれた予算計画を立てられたい。
2. 学会会計の安定化については、会員数の増加を図るとともに、既会員の適切な会費納入が重要と考えられる。そのための方策について、理事会や各委員会、支部などで検討していただきたい。

以上

2. 審議事項

2.1 2009 年度剰余金処分（案）

2009 年度剰余金処分（案）

- (1) 2009 年度剰余金は 4,403,108 円となった。
- (2) 2009 年度一般会計から学会基金へ 2,000,000 円を支出する。
- (3) 2009 年度一般会計から事業準備金へ 2,000,000 円を支出する。
- (4) この結果, 学会基金は 7,000,000 円, 事業準備金は 7,000,000 円, 一般会計繰越金 403,108 円となる。

2009 年度基本会計

科目	予算	
学会基金	5,000,000	
事業準備金	5,000,000	
	10,000,000	

2010 年度基本会計

科目	予算	備考
学会基金	7,000,000	
事業準備金	7,000,000	
	14,000,000	

2.2 2010 年度事業計画（案）

- 1) 学会活動の活性化
 - (1) 会員数維持および学生会員獲得のための方策の検討および実施
 - (2) 経費の一層の節減および収入増のための方策の検討および実施
 - (3) メール広報を活用した会員サービスの向上
 - (4) 広報活動の促進のための方策の検討および実施
- 2) 2010 年全国大会の開催：2010 年 3 月 17 日～19 日に名城大学（名古屋市）で開催
- 3) 2010 年度総会の開催：2010 年 3 月 17 日に名城大学（名古屋市）で開催
- 4) 2009 年度評議員会の開催：2010 年 3 月 17 日に名城大学（名古屋市）で開催
- 5) 2010 年度理事会の開催：東京大学農学部，他
- 6) 会誌「農業気象」の発行（第 66 巻 1 号～第 66 巻 4 号）
- 7) 会誌「生物と気象」の発行，第 10 巻（電子化してホームページ上で公開）
- 8) 日本農業気象学会賞の審査および授与
- 9) 日本農業気象学会永年功労会員の審査および表彰
- 10) 日本農学賞等の候補者の推薦
- 11) 支部活動の推進（別表「支部活動予定（案）」の通り）
- 12) 研究部会および若手研究者の会の活動の推進（別表「研究部会活動予定（案）」の通り）
- 13) 特別委員会の開催
- 14) 日本農学会の活動を推進
- 15) 日本農業工学会の活動を推進
- 16) 農業環境工学系学会連盟の活動を推進
- 17) 日本学術会議関連の活動に協力
- 18) 日本地球惑星科学連合の活動を推進
- 19) 地理関連学会連合の活動に協力
- 20) 他学会・団体とのシンポジウム・会議の共催・協賛・後援等を推進
- 21) 受託研究の受け入れ
- 22) 国際会議出席者の推薦，国際研究交流の推進
- 23) 学会の活動方向の検討
- 24) その他，本学会の目的達成のための各種事業の推進

支部活動予定（案）

支部名	研究会・講演会・出版物	会員（2010年1月19日現在）
北海道支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会（研究発表，講演会，総会）：日時・場所未定 「北海道の農業気象」第62号発行予定 	正会員：44 シルバー会員：0 学生・ポストドク会員：5 購読会員：8 合計：57
東北支部	<ul style="list-style-type: none"> 東北支部大会：北里大学獣医畜産学部を予定，日時未定 「東北の農業気象」第55号発行予定 	正会員：43 シルバー会員：1 学生・ポストドク会員：3 購読会員：9 合計：56
関東支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会（研究発表，シンポジウム，総会）：日時・場所未定 「関東の農業気象」第36号発行予定 	正会員：213 シルバー会員：3 学生・ポストドク会員：19 購読会員：31 合計：266
北陸支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会（研究発表，シンポジウム，総会）：2010年11月中旬，会場未定（石川県） 「日本農業気象学会北陸支部会誌」第35号発行予定 	正会員：14 シルバー会員：0 学生・ポストドク会員：0 購読会員：6 合計：20
東海支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会（研究発表，シンポジウム，総会）：2010年12月初旬，岐阜県担当 「東海支部会誌」第69号発行予定 	正会員：36 シルバー会員：2 学生・ポストドク会員：2 購読会員：7 合計：47
近畿支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会：2010年12月（予定），和歌山県内（予定） 「日本農業気象学会近畿支部大会講演論文集」，第3号発行予定 	正会員：50 シルバー会員：6 学生・ポストドク会員：2 購読会員：15 合計：73
中国・四国支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会（研究発表，総会）：2010年12月上旬（予定），鳥取市内（予定） 「中国・四国の農業気象」第23号発行予定 	正会員：57 シルバー会員：4 学生・ポストドク会員：7 購読会員：19 合計：87
九州支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会（日本生物環境工学会九州支部と共催予定，見学会，研究発表，シンポジウム，総会）：2010年11月，大分県別府市にて開催予定，見学会，シンポジウム等の内容は未定 「九州の農業気象Ⅱ輯」19号発行予定 	正会員：41 シルバー会員：5 学生・ポストドク会員：7 購読会員：21 合計：74

研究部会活動予定（案）

部会名・部会長	事務局・幹事	研究会・講演会・出版物
リモートセンシング・GIS 研究部会 部会長：大政謙次 設立：2000年12月	〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学大学院農学生命科学研究科 清水 庸・細井 文樹 Tel: 03-5841-8101, Fax: 03-5841-8175 E-mail: ayosh@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp	オーガナイズドセッション（2011年大会時）およびセミナー（随時）を開催予定
生態系プロセス研究部会 部会長：小林和彦 設立：2003年7月	〒305-8604 つくば市観音台 3-1-3 農業環境技術研究所大気環境研究領域 桑形恒男 Tel: 029-838-8202, Fax: 029-838-8211 E-mail: kuwa@affrc.go.jp	農業気象学会全国大会にて研究会またはオーガナイズドセッションを企画予定
園芸工学研究部会 部会長：佐瀬勘紀 設立：2006年6月	〒271-8510 千葉県松戸市松戸 648 千葉大学大学院園芸学研究科 石神靖弘・彦坂晶子 Tel: 047-308-8843, Fax: 047-308-8843 E-mail: ishigami@faculty.chiba-u.jp	各種セミナー，講演会を開催予定
センシング・モニタリング 技術研究部会 部会長：青木正敏 設立：2008年6月	〒136-0075 江東区新砂 1-7-5 東京都環境科学研究所調査研究科 横山 仁 Tel: 03-3699-1331, Fax: 03-3699-1345 E-mail: yokoyama-h@tokyokankyo.jp	日本農業気象学会 2010年全国大会にて「農業気象研究における次世代型気象センサーの現状と未来」と題したオーガナイズドセッションと部会総会を開催予定
農業気象リスクマネジメント 研究部会 部会長：松岡延浩 設立：2010年3月	〒305-8666 茨城県つくば市観音台 3-1-1 中央農業総合研究センター 農業気象災害研究 チーム 大野宏之 Tel: 029-838-8418, Fax: 029-838-8418 E-mail: ohno@affrc.go.jp	年1回会合を持ち，以下の検討と行うとともに，関連資料を適切な形式で長期間蓄積する。 (a) 当該年に発生した農業気象リスクのリファレンス、 (b) 発生したら直ちに適用できる緊急対策 (c) 適切な復旧対策
若手研究者の会	〒060-8589 札幌市北区北9条西9丁目 北海道大学大学院農学研究院 平田竜一 Tel: 011-706-4175 E-mail: ryuhirat@env.agr.hokudai.ac.jp	・農業気象学会 2010年全国大会において，オーガナイズドセッション「若手研究者から見た農業気象学」を開催予定 ・ホームページを作成予定

2.3 2010年度一般会計予算(案)

2010年度一般会計予算(案)

1. 収入

科目	予算	備考
学会費	6,386,500	2010年1月現在
正会員	4,275,500	¥8,500*503名
シルバー会員	105,000	¥5,000*21名
学生・ポスドク会員	184,000	¥4,000*46名
購読会員	952,000	¥8,000*119件
賛助会員	870,000	¥30,000*29件
売上金	2,230,000	
養賢堂(含む書店)	400,000	2009年度実績
掲載料・別刷り	1,800,000	2008年度実績
バックナンバー	30,000	
雑益費	861,500	
広告料	257,500	2009年度実績
利息	4,000	
その他	600,000	2009年合同大会返金 複写権利
前年度繰越金	403,108	
単年度合計	9,478,000	
合計	9,881,108	

学会費収入は2009年予算よりも約43万円減額。編集委員会については、今後、学会誌のあり方について会議が多くなることも予測されることから、編集費を養賢堂経費と編集委員会経費に分け、編集委員会経費については、これまでの実績から50万円を計上した。昨年度から設けられた理事会開催経費とともに予算の恒常化をはかりたい。なお理事会開催経費についても自費で参加される方が多く、無料奉仕となっている現状は好ましくないと考え50万円を計上した。さらに学会活動の活性化のため支部補助費の単価を700円に引き上げ、42万円計上した。学会賞費は賞牌作製用として50万円分を計上した。収入「雑益費」その他で60万円計上されているのは、すでに2009年合同大会が黒字決算だったことから分担金50万円の返金および7万5千円が納入されたため。

2. 支出

科目	予算	備考
学会誌発行業務	4,850,000	農業気象66(1)-(4)
印刷・製本・別刷り費	3,200,000	
発送費	300,000	
編集費	850,000	養賢堂経費
編集委員会経費	500,000	(編集委員旅費)
総大会費	300,000	
大会運営費	250,000	
大会事務費	50,000	
学会賞費	620,000	論文賞、奨励賞、受賞者懇親会費、賞牌作製費用(500,000)
会計業務委託費	1,002,000	
会員業務	600,000	会員管理(@560*797)、発送等手数料
会計業務	252,000	(会計業務、月額@20000*12)
窓口・その他業務	150,000	(窓口業務、月額@10000*12)
理事会開催費	500,000	
庶務理事経費	58,000	
会計理事経費	60,000	(振込手数料・ファクシミリ手数料含)
支部補助費	420,000	単価700円
部会・研究・渡航補助費	150,000	
リモートセンシング・GIS研究部会	0	
生態系プロセス研究部会	0	
園芸工学研究部会	0	
センシング・モニタリング技術研究部会	0	辞退
農業気象リスクマネジメント部会	0	辞退
若手研究者の会補助費	50,000	
渡航費補助	100,000	5万円×2名
関連団体分担金	140,000	
日本地球惑星科学連合	10,000	
農学会費	80,000	
農業工学会費	50,000	
名簿作成	120,000	
単年度支出	8,220,000	
予備費	1,661,108	
合計	9,881,108	